

ときのあれこれ

Collection - ときコレ

(土岐市章)

家に家紋があるように、市町村にもそのまちのシンボルマークともいえる市章があります。その多くは、まちの風土や文化、名称を抽象的に表現したものです。

昭和30年2月1日、土岐郡内の8つの町・村が合併し土岐市が誕生しました。土岐市の市章もこのとき公表されました。

このマークは土岐市の頭文字である“土”を図案化したもので、窯焼く煙と温泉の湯煙をもって本市の表徴とし、これを市章と定めたものです。



特集 ノルディックウォーキング

06 市政情報

救急救命士の処置範囲拡大の実証研究を実施／市民ロードレース大会の参加者募集
市長と語る会／特定健診受診の案内／市功労者表彰該当者調査／美濃焼伝統工芸品まつり／市病院職員の募集

08 情報ひろば／土岐市公民館だより

10 ときめきの瞬間

12 読者コーナー

13 土岐市教育『夢・絆』／給食センター掲示板

14 男と女のいきいきコラム／健康まめ知識

15 健康ガイド

16 陶史の森だより

市長コラム

知恵と情報

先月9日、90歳を迎える方をお招きして市の敬老会を開催しました。参加された54人の方と会食をしたりアトラクションを見たりして楽しい時間を一緒に過ごさせていただきました。

「亀の甲より年の功(劫)」とは、年長者の経験や知恵は尊ぶべきであるということわざです。過去、人々は経験に裏打ちされた「知恵(情報)」を持つ年長者に対して敬意を持っていました。しかし、今ではテレビを見たりインターネットを使ったりすれば、経験を積まなくても「情報」が手に入るようになりました。

簡単に情報が手に入ることは便利なことですが。しかしその反面、年長者が持っていた知恵が軽んじられてきたこととはなかつたでしょうか。先の震災では、過去の津波被害が語り継がれたために被害を逃れることができたという例がありました。こうした例などをとっても、年長者が語り次いできた知恵・見識には、簡単に手に入る情報にはない重みがあるように思うのです。

敬老会で皆さんとお会いし、年を重ねたからこそ得られた知恵とひたむきに生きることの大切さを、あらためて学ばなければならぬと感じました。

土岐市長 加藤靖也